



ゆふいん豊水会



大分川や白滝川，宮川，金鱗湖，田んぼ，水路，そして温泉
湯布院には魅力的な水辺がたくさん。
そんな素敵な場所がずっと続くように，子ども達に伝え残せるように，
一緒に見て，知って，そしてアクション！

豊かな水環境創出ゆふいん会議（以下，ゆふいん豊水会）は「人と川との繋がりを深め，人が水と親しむ文化を育てる」をコンセプトに，平成26年に設立されました。

大分川の源流である由布院盆地の水環境の現状や課題を見て知って，改善策を学び，未来に伝え残す大分川の姿を発信・提言することを目的としています。主な活動として水環

境の保全再生に関わる普及啓発，実践活動，調査研究を行っています。

ゆふいん豊水会は現在12の団体・個人からなり，皆で話し合いながら，活動を進めております。そして，環境保全を推進する由布市環境課，河川管理者である大分県大分土木事務所とも連携を密にしながら実践活動に取り組んでいます。

ゆた みずかんきょうそうしゅつ かいぎ ほうすいかい
豊かな水環境創出ゆふいん会議（ゆふいん豊水会）活動方針宣言
『コンセプト』

「人と川との繋がりを深め，人が水と親しむ文化を育てる」
『活動方針』

「知る・見る」から「学ぶ」そして「実践する」

1. 豊かで清らかな水の流れをつくる（知る・見る）
2. 多様な在来生物が生息・生育し，誇れる河川環境をつくる（学ぶ）
3. 市民と行政が知恵を出し，協力しあって未来をつくる（実践する）

「豊かな水環境創出ゆふいん会議」は，由布市や大分県の支援を得ながら，大分川源流域において上記活動を継続して実施することを宣言する。

これまでの活動紹介

大分川・宮川を考えるワークショップ

川は地域のもので。皆さんは、どんな大分川にしたいですか？どんな使い方をしたいですか？

河川管理者の大分県と豊水会との協働モデル事業の一環として、ワークショップを開催しています。最終的に大分川の将来ビジョンを描き出し、大分川上流域の河川整備計画にも反映させていきます。



普及啓発・教育活動

水環境保全のためには、住民のみなさん一人ひとりに水環境の大切さや課題を知って見てもらう必要があります。リバーウォークや水環境フォーラムの開催、ゆふいんラヂオへの出演（毎月第1月曜11:17~）を通じ、普及啓発を行なっています。

また将来を担う子供達にも水環境の素晴らしさ、大事さを伝えていくために、野外体験型の河川環境学習会を開催しています。



外来生物対策活動

宮川には湯布院町は温泉地であるため、高水温に適応した熱帯地方の外来魚（ティラピア類やグッピー）が生息しています。また宮川には東南アジア原産の水草オオセキショウモが繁茂しています。そのため川の水が流れにくくなったり、水位が上がり田んぼが使えなくなったりと問題を引き起こしています。日本本来の景観や生物多様性を保全していくためにも、豊水会が一丸となって外来生物対策を行っています。



ゆたかな水環境創出ゆふいん会議（ゆふいん豊水会）概要

【会長】溝口薫平 【副会長】衛藤公臣

【参加団体一覧】※2018年1月現在

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. (公財) 人材育成ゆふいん財団 | 7. 湯布院地域自治委員会 |
| 2. 大分川漁業協同組合 | 8. 温湯区長 |
| 3. (一社) 由布院温泉観光協会 | 9. 温湯区財産管理委員会 |
| 4. 由布院温泉旅館組合 | 10. 湯布院町青少年ボランティアサポートセンター |
| 5. 由布市商工会湯布院支部 | 11. 湯布院経済同友会 |
| 6. ゆふいん水田営農サポート研究会 | 12. (特非) ユクリエ |